

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課： _____
担当課長名： _____

事業名	一般国道400号 杉峠バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	福島県
起終点	自：福島県大沼郡三島町大字名入 至：福島県耶麻郡西会津町大字下谷			延長	4.4 km

事業概要
一般国道400号は、茨城県水戸市を起点としから福島県耶麻郡西会津町に至る延長約11.3kmの幹線道路である。杉峠バイパスは、幅員狭小区間の解消を図ることによる円滑な交通の確保及び磐越自動車道西会津ICへのアクセスを目的とした延長4.4kmのバイパス整備事業である。

H2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H2年度用地着手	H3年度工事着手
全体事業費	約63億円	事業進捗率	67%
計画交通量	1,301台/日		

費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (残事業)/(事業全体)	18 / 76億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	65 / 82億円	基準年 平成17年
	(残事業)	3.6	事業費	15/71億円	走行時間短縮便益	63/80億円	
			維持管理費	4/4億円	走行費用減少便益	2/2億円	
					交通事故減少便益	0/0億円	

事業の効果等
 ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車すれ違い困難区間の解消）
 ・災害への備え（H8防災点検要対策箇所の解消）

関係する地方公共団体等の意見
 三島町、柳津町、西会津町で構成される国道400号杉峠改良促進期成同盟会より早期整備を要望されている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 計画検討していたトンネルについて、地質調査の結果より、施工に莫大な費用がかかることが判明した。

事業の進捗状況、残事業の内容等
 平成16年度までに名入工区1.3kmと上牛尾工区の一部0.3kmを供用している。現在は残る上牛尾工区、西方工区について工事を進めている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
 計画検討していたトンネルについて、地質が軟弱であることが判明したため計画変更の必要が生じた。

施設の構造や工法の変更等
 トンネルの施工には莫大な費用が必要となることから、今後は現道を活用し部分的な解消を行っていく。

対応方針 見直し継続

対応方針決定の理由
 計画検討しているトンネルについて、地質調査の結果より工法変更が生じたことから、その費用対効果を踏まえ、当該区間の現道を活用した計画に変更し整備を進める。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものとす。